

2021年度 第5回 理事会 抄録

日 時： 2021年8月29日（日） 10:00～12:00

場 所： WEB会議

出席者

理 事： 齊藤、内山、大工谷、吉井、
湯元、清宮、佐々木、白石、森本、網本、板倉、大淵、小川、梶村、
黒澤、高橋（哲）、高橋（仁）、田中、谷口、西山、友清、藤澤、松井

監 事： 太田、櫻田、辺土名

欠席者

理 事： なし

監 事： なし

I. 審議事項

（全4題）

1. 法人会員制度の導入について	(森本常務理事)	承認
<p>47 都道府県理学療法士会（以下、士会）を法人会員とする方向性及びその代表者は時の士会長あて職とすることについて審議がなされ、承認された。 今後は、新組織検討委員会において詳細の検討がなされる予定。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・学会の法人会員のあり方について、どのようにお考えか。 →2019年から組織体制検討委員会で検討していたが、本年4月に設立された学会連合の体制を踏まえ、今後さらに検討していく。		
2. 協会が士会に展開した事業の費用支弁について	(森本常務理事)	—
<p>新組織検討委員会での議論を踏まえて、協会が士会に展開した事業の費用支弁について議論がなされた。様々な意見がなされたが、結論として議決には至らなかった。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・業務執行理事の執行範囲として判断すべき要素であろう。本委員会の場合は常任理事会に諮り検討すべき案件ではないか。常任理事会にて理事会の決議が必要と判断された場合に、理事会の議題とする方向でよいのではないか。・今後の法人会員制度導入に向けて、利益相反等も踏まえて慎重に検討する必要がある。		

3. 日本理学療法士協会の学術誌の名称と発行方法について (白石常務理事)	承認
<p>2022年度の協会雑誌発行に向けて、その名称と発行方法について以下の提案がなされ、審議された。</p> <ul style="list-style-type: none">・名称：「日本理学療法士協会雑誌 (Journal of Japanese Physical Therapy Association)」としたい。・方法：マイページから閲覧する Web 発行としたい。 <p>本件について承認された。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・費用規模を精査し、公益事業になるのか共益事業になるのか検討していただきたい。・会報誌の内容を、一部協会 HP (オープンサイト) に掲載し、国民が閲覧できる方法等も検討していただきたい。	

4. 新入会員の承認について (斉藤会長、内山副会長、大工谷副会長、吉井副会長)	承認
<p>2021年6月16日～2021年8月15日の間、新たに申請をした正会員 2,160名、賛助会員 1社の入会について審議され、承認された。併せて、復会者 130名、休会者 213名、退会者 2,424名との報告がなされた。</p> <p><賛助会員 入会> 株式会社メジカルビュー社 (事業内容：医学書専門出版)</p>	

II. 報告事項

(全9題)

1. 常任理事会の会議報告について	(湯元専務理事)
2021年6月15日～7月27日に開催された常任理事会の審議・報告内容について報告された。	
2. 2022年度事業計画・予算案作成スケジュールならびに予算分配上限額について	(湯元専務理事)
2022年度事業計画・予算案作成スケジュールについて報告がなされた。	
3. 指定規則等検証部会の検討スケジュールについて	(白石常務理事)
指定規則等検証部会の今後のスケジュールについて報告がなされた。 次回の改正に向けて、2023年度目途で部会の報告書をまとめる予定。	
4. 理学療法士講習会について	(白石専務理事)
2022年度からの理学療法士講習会の方針について、以下の通り報告がなされた。 ・2022年度から新生涯学習制度が始まるにあたり、ポイント数については、時間換算となるため、理学療法士講習会に関しても助成金が必要な講習会のみを申請する形とする。(申請要項をシンプルにする) ・細かな要件の整理を今後行っていき、2021年10月中旬から申請受付を開始できるよう準備していく。	
5. 事務局報告について(7-8月)	(湯元専務理事)
7-8月の会員動向等について報告がなされた。	
6. 部会設置および構成員について	(各業務執行理事)
2021・2022年度の事業計画に基づき、業務執行理事が部会設置および構成員を任命したことが報告された。 ■事業部 養成教育係 ・指定規則等検証部会 ・臨床実習前後の評価モデル構築作業部会 ・通所リハビリテーションまたは訪問リハビリテーションに関する実習モデル構築作業部会 ・臨床実習調整者モデル構築作業部会 ・臨床実習および臨床実習指導者のモデル構築作業部会 ■事業部 認定認証係 ・登録理学療法士制度検討部会 ・実地研修教材検討部会 ・認定・専門理学療法士制度検討部会	

- ・認定・専門理学療法士制度作業部会
- ・認定・専門理学療法士審査部会
- ・認定試験部会
- 事業部 研修会等振興係
 - ・がんのリハビリテーション研修会運営部会
- 事業部 社会保険係
 - ・地域包括ケアシステム推進部会
- 事業部 予防等振興係
 - ・産業領域業務推進部会
 - ・学校保健・特別支援教育理学療法部会
 - ・動物に関する理学療法部会
- 事業部 学会連合支援係
 - ・一億円プロジェクト運営部会
- 事業部 士会支援係
 - ・士会支援事業運営部会
- 事業部 委員会等支援係
- 障がい者スポーツ普及促進事業
 - ・障がい者スポーツ普及促進運営部会
- 障がい児（発達障がい児）対策事業
 - ・障がい児（発達障がい児）対策運営部会
- オリパラ記録集の作成事業
 - ・オリパラレガシー編集作業部会
- スポーツ理学療法の全国展開・推進事業
 - ・スポーツ理学療法の全国展開・推進運営部会
- グラウンドデザイン策定事業
 - ・グラウンドデザイン作業部会
- 理学療法標準評価推進事業
 - ・理学療法標準評価推進運営部会
- 理学療法の「核」の設定事業
 - ・理学療法の「核」の設定作業部会
- 事業部 国際事業係
 - ・グローバルプロジェクト運営部会
- 企画部 広報企画課
 - ・理学療法ハンドブック作成部会

7. 「新生涯学習制度（実地研修）eラーニングコンテンツ制作に関する委託業務」入札結果について（白石常務理事）

「新生涯学習制度（実地研修）eラーニングコンテンツ制作に関する委託業務」における入札結果について、経理規程第4条第1項第1号（ア）に基づき報告がなされた。

8. 新生涯学習システムへの移行に係る推進リーダーの要件変更について

(白石常務理事)

新生涯学習システムへの移行に係る推進リーダーの要件変更について、以下の通り報告がなされた。

現制度において、推進リーダーの要件は新人教育プログラム修了としているが、2022年度の新生涯学習制度への移行に伴い、推進リーダー登録申請の要件は、登録理学療法士を所持していることとする。

なお、現制度で推進リーダーは取得済みであるが、新制度で登録理学療法士履修中となる場合には、推進リーダーは取得済みとし、登録理学療法士取得を努力義務とし、会員に周知することとする。

9. 世界理学療法連盟(World Physiotherapy)理学療法士教育の枠組み

(大工谷副会長)

世界理学療法連盟(World Physiotherapy)より理学療法士教育の枠組みに関する資料提供があり、日本語仮訳版について提出・報告がなされた。

以上